

平成 28 年度事業計画書

特定非営利活動法人ポケットサポート

1 事業実施の方針

病気のため教育を受けられない子どもへの学習支援および復学支援を行う。また、孤立しがちな社会体験を補うため、病弱児同士の交流支援を行う。28 年度は会員またはボランティアスタッフの増加と共にこれらのサポートを受ける利用者を増やす。さらに、教育及び医療を学ぶ大学生だけでなく、活動に賛同する社会人へも病弱児への支援について広報、周知活動を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	従事者の 予定人数	受益対象 者の範囲及 び 予定人数	支 出 見込額 (円)
病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業	子どもの学習進度や病状に合わせ、彼らの状態に応じた適切な場所で、無理のないよう学習をサポートする。 岡山市と協働し、退院後の通院時や自宅療養中の子どもが通える学習支援スペースを運営する	90 分 / 回 4 回/月 120 分/回 7 回/月 240 分/回 10 回/月	療養中の自宅及びヘッドサイト 入院病棟 岡山大学病院マスカットキューブ	5 名 15 名 15 名	病弱児 述べ 400 名 述べ 280 名	1,470,000
病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業	嚴重な感染防止下にある子どもや、遠隔地で療養する子どもに対し、ICT機器を使用した双方向 web 学習支援を行う。	60 分/回	療養中の自宅及びヘッドサイト	述べ 6 名	病弱児 述べ 72 名	1,000,000

病弱児同士の交流や、集団での学習活動による交流支援事業	病弱児とその家族を集め学習会及び、季節に応じた交流イベントを開催し、社会体験を補い、病弱児同士の自立を促す。	春夏 秋冬	岡山大学病院マスカットキューブ、岡山市の公共施設など	各 25 名	病弱児とその家族述べ 50 組	880,000
病弱児への支援に関する講演活動および講師派遣事業	大学の講義や教育、医療関係者の研修に講師を派遣し、病弱児支援について広報、周知活動を行う。 岡山市と協働し病弱児の教育や療養環境についての講演会を開催する	60 分 / 回 2 回 90 分 / 2 回	岡山大学、就実大学など	1 名 2 名	大学生 100 人 大学生 140 人 市民 60 人	310,000

28年度は学習支援事業において助成事業や岡山市協働モデル事業により、前年度に比べ事業規模と支援可能な病弱児の範囲が広がっている。また、学習支援スタッフに関しても大学生ボランティアなどの拡充により、入院児支援から退院児支援まで、さらに多くの病弱児らへの支援が可能となる。岡山市協働モデル事業に関しては、国が法廷事業として定めている小児慢性疾病児童等自立支援事業の実施団体を担うための足がかりとしても重要な事業と捉えている。

年に2～3度行っていた学習・交流イベントにおいては、その参加者の数が法人設立後から増加傾向にあり、加えて従事するスタッフの数も増加している。前年度までは代表理事のみが行っていた大学への講義や講演活動に関しては、岡山市の協働や助成事業などにより、専門家を招いて病弱児の置かれている環境やその実態に関しての講演会が開催される予定となっている。